

吉永中学校のみなさんへ

みなさんが、これからの社会の中で、自らの可能性を伸ばし、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、よりよい地域・社会の創り手となっていくために、自分らしい生き方への実現に向け、以下の力をさらに伸ばしていくことを願っています。

《中学生活でさらに伸ばしてほしい4つの力》

<p>【人間関係形成・社会形成能力】 人とともに社会を生きる力</p> <ul style="list-style-type: none">○多様な他者の考えや立場を理解し、自分の考えを正確に伝える力○他者と協力・協議して社会参画し、今後の社会をつくっていく力 <p>《具体的な例》 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキルチームワーク、リーダーシップ など</p>	<p>【自己理解・自己管理能力】 自分を知り、コントロールする力</p> <ul style="list-style-type: none">○自分のしたいこと、意義を感じることを理解し、可能性を信じて粘り強く行動する力○自分の思考や感情をコントロールし、向上しようとする力 <p>《具体的な例》 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機づけ、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動 など</p>
<p>【課題対応能力】 課題を見つけ、解決する力</p> <ul style="list-style-type: none">○身のまわりや社会のできごとなどから様々な課題意識をもつ力○課題を分析し、適切な計画を立てて、その課題を処理し、解決する力 <p>《具体的な例》 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善 など</p>	<p>【キャリアプランニング能力】 志を創りあげる力</p> <ul style="list-style-type: none">○「学ぶ・働くこと」の意義を理解し、自分の立場や役割の関連を認識する力○多様な生き方に関する様々な情報を活用し、主体的に判断し、生きていく力 <p>《具体的な例》 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善 など</p>

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、中学生生活を振り返ったり見通したりしながら、学びの軌跡を記録し、積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。

伝えたいこと

吉永中学校で卒業までに身につけてほしい力とは

吉永中学校の校訓は

- 【立志】 目標実現に向け、ひたむきに学ぶ生徒
- 【誠実】 思いやりの心もち、共に高め合える生徒
- 【剛健】 困難に立ち向かい、やり遂げる生徒 です。



校訓「立志」「誠実」「剛健」が「目指す生徒像」であり、「将来にわたって必要な力」だと考えています。だから卒業までにこれらの力を身につけてほしいと考え、学校の教育活動全体で進めていく目標を「志の実現に全力で取り組む心身ともにたくましい生徒の育成」としています。

キャリア教育の実施、キャリア・パスポートを作成するねらい

吉永中学校では、皆さん一人ひとりの【立志】【誠実】【剛健】の力を伸ばすために「キャリア教育」を教育活動の基盤に据え、取り組んでいます。

【立志証】や【自分から「よしなが」】の取組も「キャリア教育」に含まれています。

「キャリア教育」は**将来、自立した大人になるための教育**です。考えてみると、人は様々な場面で様々な立場や役割があります。年齢を重ねるごとにその立場や役割が多くなります。例えば君達は学校生活では「生徒」、家庭に帰れば「子供」、仲間という時には「友達」です。私で言えば、学校では「校長」、家庭では「子供」「夫」「父」、地域では「近所のおじさん」「少年団の先生」等々、場面によって様々な立場や役割があります。それぞれの場面で自分の立場や役割をしっかりと果たすために必要な力…**例えば人とコミュニケーションをとる力、協調する力、課題を見つける力、自分からする力等を体験や活動を通して身につけていきます。**

キャリア・パスポートは、自分の志を振り返るために必要なものです。「**過去に学ばない者は過去を繰り返す**」という言葉があります。自分が立てた志、その実現のために立てた具体的な目標を定期的に振り返ることで、新たな気づきが生まれます。そのためにキャリア・パスポートの取組を行います。

メッセージ

キャリア教育は「**学校の全ての教育活動で行うこと**」となっています。授業、給食、清掃、学校行事…イメージしにくいかもしれませんが、学校で行われていることの前に「**何のために**」をつけて考えると、キャリア教育で育てる力が浮かんできます。(何のために当番をするのか) (何のために話し合いをするのか) (何のために立志証を作るのか) …**全ての教育活動に目的があり、それぞれの活動は、キャリア教育を通して「自立した大人」になるために行っています。**みんなも「**何でやらんといけんのん**」という思いがわいた時に、「この力をつけるために。それが将来の自分に繋がっている」と考えてください。**自分から！**

令和2年4月

備前市立吉永中学校 校長 木村 俊一